

■文化センターで福祉展

富士市福祉展が3月9日から2日間にわたって富士文化センターで行なわれました。お年寄りや身体障害者などのみなさんが丹精こめてつくった掛け軸や盆栽、絵画などが展示されました。また、ふじやま学園の園児がつくった壁掛の即売に人気が集まっていました。



■サクラの名所づくりに一役

傷い軍人会（佐藤豊吉会長）は、援護法制定の10周年を記念して、さきごろ広見公園にサクラ 200本を植樹しました。なお傷い軍人会では、これから毎年植樹を行ない、サクラの名所づくりに一役と全員が張り切っています。

■岩松で町内の花壇づくり

岩松地区の花の会や社会福祉奉仕団、岩松農協花木組合のみなさんが、岩松公民館前の空地に花壇づくりを行ないました。花壇にはパンジーやアジサイ、桜の苗木などが植えられ立派にできあがりました。



火の用心・火の用心・火の用心・火の用心・火の用心・火の用心・火の用心・火の用心・火の用心・火の用心



運動期間中に12件発生

…春の火災予防運動…

子どもの火遊びやちよつとした不注意から毎日のように火災が発生しています。特に春の火災子防運動期間中の2月28日から3月13日までの2週間に12件も発生しています。また、火災までにはなりませんでした。警戒出動が17件もありました。

12件の火災原因を見ると子どもの火遊びが4件、タバコの不始末2件、調査中2件、焼却炉の火の粉などです。なかでも3月9日に今井本町で、子どもの火遊びから発生した火災では、住宅3棟と物置が全焼、住宅2棟が部分焼、ケガ人まで出していました。